



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人 五輪橋整形外科病院	階数	地下1階 地上4階
建設地	札幌市南区川沿2条1丁目18-56,-57,-58,-59,-62の内,22-3,-4,23-5,-6の内	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	287 人
建物用途	病院	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2022年2月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	2,677 m ²	評価の実施日	2019年5月14日
建築面積	1,628 m ²	作成者	
延床面積	5,313 m ²	確認日	2019年5月15日
		確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★ B-

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 91%

③上記+②以外のオンサイト手法 91%

④上記+オフサイト手法 91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm] = 0.89

2-5 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.2**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 2.6**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.1

3 設計上の配慮事項	
総合 既存建物位置と配棟を変えないようにし、今までの雰囲気と変化が無いよう配慮した。	A 省エネルギー 節水型衛生器具の採用。省エネ法届出済。
B 省資源等	C 緑化 「札幌市緑の保全と創出に関する条例」に定められた緑化率20%を確保。
	D 雪処理 既存ロードヒーティングをそのまま活用する。

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	なし	BELS認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用		LEED認証	なし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4)
 医療法人 五輪橋整形外科病院

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点 評価項目	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数			
Q 建築物の環境品質											2.2	
Q1 室内環境					0.40		-				2.5	
1 音環境				2.1	0.15	2.8	1.00				2.2	
1.1 室内騒音レベル		目標とする騒音レベルによる評価を行った		3.0	0.40	5.0	0.40					
1.2 遮音				1.8	0.40	1.6	0.40					
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30					
2 界壁遮音性能				1.0	0.60	1.0	0.30					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	1.0	0.20					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	1.0	0.20					
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20					
2 温熱環境				2.8	0.35	2.7	1.00				2.8	
2.1 室温制御				2.7	0.50	2.5	0.50					
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57					
2 外皮性能	省エネ			2.0	0.25	2.0	0.43					
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-					
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20					
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30					
3 光・視環境				1.7	0.25	2.5	1.00				1.8	
3.1 昼光利用				1.8	0.40	1.8	0.40					
1 昼光率				1.0	0.60	1.0	0.60					
2 方位別開口					-		-					
3 昼光利用設備	省エネ			3.0	0.40	3.0	0.40					
3.2 グレア対策				1.0	0.40	3.0	0.40					
1 昼光制御	省エネ			1.0	1.00	3.0	1.00					
2 映り込み対策					-		-					
3.3 照度				3.0	0.20	3.0	0.20					
3.4 照明制御				-	-	-	-					
4 空気質環境				3.1	0.25	2.7	1.00				3.0	
4.1 発生源対策				3.0	0.50	3.0	0.63					
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00					
4.2 換気				2.0	0.30	2.3	0.38					
1 換気量				1.0	0.50	1.0	0.33					
2 自然換気性能					-	3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33					
4.3 運用管理				5.0	0.20		-					
1 CO ₂ の監視					-		-					
2 喫煙の制御		敷地内全て禁煙		5.0	1.00		-					

Q2 サービス性能			0.30	-	-	2.8	
1 機能性			3.1	0.40	3.4	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性				-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	
3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			4.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観 (天井高)		病室天井高 H=2.5m		-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	
3 内装計画		機能毎の要求を満たしつつ、内装材や照明計画を一体で計画	4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理			2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		省資源	2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		省資源	3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		省資源	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		省資源	2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			2.4	0.30	2.1	1.00	2.3		
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30	2.2	0.50			
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	0.60			
2 空間の形状・自由さ			1.0	0.40	1.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30	2.0	0.50			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-			
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-			
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-			
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-			
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-			
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-			
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.1		
1 生物環境の保全と創出			線化	1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			線化	1.0	0.40	-	-	1.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30	-	-	1.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			雷処理	1.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			省資源線化	2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	2.6		
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.9		
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネ	BPIm=0.74、BEIm=0.89	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			省エネ		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			省エネ	[BEI][BEIm] = 0.89 -	2.5	0.50	-	-	2.5
4 効率的運用					2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価					2.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			省エネ		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			省エネ		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価					-	-	-	-	
4.1 モニタリング			省エネ		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			省エネ		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6		
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0	
1.1 節水				3.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-	2.6	
2.1 材料使用量の削減			省資源	2.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			省資源	3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			省資源	3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			省資源	1.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			省資源	2.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			省資源	躯体と仕上材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源		2.0	0.50	-	-	
3 冷媒	省資源		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.1
1 地球温暖化への配慮	省資源	評価シートによる自動算出	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			1.6	0.33	-	-	1.6
2.1 大気汚染防止	省資源		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 緑化 雪処理		1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			1.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源		2.0	0.33	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			-	-	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理		1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			1.6	0.33	-	-	1.6
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	
1 騒音			-	-	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.67	-	-	
1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.33	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要		BEE	0.5	BEEランク	B ⁻
建物名称	医療法人 五輪橋整形外科病院				
建物用途	病院				
延床面積	5,313.2 m ²				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★☆
	省資源等	★★★☆☆
	緑化	★★★☆☆
	雪処理	★★★☆☆

リーダーチャート

省エネルギー性能: 5.0
省資源等への取組: 1.0
緑化への取組: 1.0
雪処理: 0.0

★1=スコア(最低点~最高点)20%以下
★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下
★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下
★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下
★5=スコア(最低点~最高点)80%以上

3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー (最高点 23.8 最低点 6.8)		合計 13.1点 /23.8点	
Q1 温熱環境	スコア 0.4 /1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0 /4.0
Q1 光・視環境	スコア 0.9 /2.8	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.2 /2.0
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 5.0 /10.0
		LR1 効率的運用	スコア 1.6 /4.0
B 省資源等 (最高点 23.9 最低点 7.7)		合計 12.0点 /23.9点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.5 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 4.7 /9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.1 /1.9
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.3 /5.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア 1.5 /4.6
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計 3.5点 /15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 0.9 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア 0.5 /2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 1.2 /6.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 /2.3		
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計 0.0点 /3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 0.0 /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数